



PTA新聞

3月号

発行所/福岡県PTA連合会
〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町13-50
福岡県吉塚合同庁舎5階
TEL092-643-7766 FAX092-643-7767
発行人/鬼頭 良典
編集/広報委員会

県P連ホームページアドレス
https://fukuokaken-pta.jp



キラリ★オンリーワンP

令和7年度「キラリと輝く九州人大賞^(※1)」で、行橋市立行橋北小学校PTAから推薦された池田あつ子さんが大賞に輝きました。児童、保護者、先生方からも「池田のばあば」と呼ばれ愛される池田さんの、キラリと輝くオンリーワンな活動についてお話を伺いました。

※1：学校を中心とした地域環境において、教育・安全安心のまちづくり・子どもの居場所づくりなどに貢献・尽力されている方を表彰する、九州ブロックPTA協議会主催の賞。

不登校や困った行動を起こす我が子がばあばと心通わせる姿を見て、その子の親御さんがばあばのところに相談に来ることもあるそうです。多くの悩みに寄り添ってきたばあばは「子どもを取り巻く環境が子どもを無口にさせている」といいます。子どもと大人の関係が希薄になっている。それは大人同士も分かり。「お母さんたちも孤独なんよ。話を聞いてほしいんと思うんよね」。人はもっと声をかけ合い、関わりをもっていかなくてはならないと訴えます。「今の学校に行けないなら、ほかへ行っても構わない。とにかく引きこもらないで」と願っています。

活動をやっていて池田のばあばが一番うれしいことは、卒業した子どもたちが今でも声をかけてくれることだそうです。あるとき、当時不登校だった子が「大学を卒業して仕事を始めた」と名刺をくれたのが本当にうれしかったと語ってくれました。「今日明日では解決しないとしても、池田のばあばがやってくれていることは必ずその子の良い将来につながるから」と校長先生はおっしゃいます。



ばあばは会議室に掛けた絵紙。この池田のばあばは、一緒に活動して下さる方々の心を繋いでいます。

大切に思ってくれる人がいるから頑張ってる

「親より学校より、ばあばの方が詳しいこともあるんよ」～従来のPTAから地域も加わるPTCA^(※2)へ～

ばあばは児童の様子や地域の危険箇所など、気になることは学校へ報告します。それを受けて学校・PTAは改善に動きます。時には直接行政へ行き、教育現場の環境改善をお願いすることもあります。

「子どもの周りの環境はきちんと整備されて美しくあるべき。でも先生や事務員さんだけじゃ絶対無理！できる人ができることをやればいいんよ。お互い遠慮せずに、やってもらいたいことは手を貸してっちお願いすればいいんよ」

※2：PTCAとは、PTAに地域住民（community）が加わった「親と教師と地域住民の会」のこと。



遠慮なく意見を交換する3人の会話はまるで家族のようです。



先生もタジタジ...



池田のばあばの元気の源は「かわいい北小っ子!!」



「気さくにに応じてくれる校長先生も、活動に意欲的な会長も、2人とも素晴らしいよね」とばあば。通学路や近隣の公園まできれいに清掃された学校。「地域の美化コンクールで大賞をいただけるのばあばのおかげ」とPTAのメンバーは言います。

今回のオンリーワンは...

ゆくはしきた 行橋市立行橋北小学校PTA

令和7年度「キラリと輝く九州人大賞」大賞受賞

行橋市北校区女性学級学級長 池田 あつ子さん
石部 秀和 校長先生 / 松川 辰也 PTA会長



平成19年に行橋市北校区の女性学級に参加されたことをきっかけに地域の活動を始められた池田さん。お子さんが小中学生の頃はご主人がPTA活動をされていたものの、ご自身は全く参加したことがなかったそうです。当初、仕方なく入った女性学級だったそうですが、20年の長きにわたり多くの児童を見守り、学校と地域を結び、行橋北小学校のためにパワフルに活動されています。池田のばあばは行橋北小学校にとってなくてはならない存在です。

●登校見守り

毎朝交通量の多い交差点に立ち、元気なあいさつで児童を迎えます。さらに一言声かけも欠かしません。なんと、20年余の間、ほとんど休んだことはないそうです。

●清掃・環境美化

自宅から学校までゴミを拾いながら徒歩で移動。除草や清掃をしながら、通学路に目の行き届いていない危険な場所がないか見廻ります。通学路だけでなく、市内の移動は徒歩。同様にゴミを拾って歩きます。

●花壇・校内菜園の手入れ

池田のばあばの畑には季節の野菜が栽培されています。児童に土に触れる感性を磨かせたいとの願いです。児童も興味をもって見守っています。校庭の草を10本抜いたら玉ねぎ1個と交換など面白い特典も!?

●子どもの居場所づくり

学校まで足が進まない児童に寄り添い、学校に行きやすくなるようサポートします。不登校の子の図書館通いにつき合ったり、自宅でお世話したりすることもあったそう。ばあばは子どもにとって安心できる存在です。

取材後記 池田のばあばはおちゃめでオシャレ! PTAから愛される存在でした♪

12月某日、「キラリ★オンリーワンP」取材のため行橋北小学校へ向かいました。事前に情報をいただいていたもの、お会いした池田あつ子さん（以下、ばあば）は予想以上にパワフルで愛にあふれたご婦人でした。この度の「キラリ〜」大賞受賞の吉報を受け、学校関係者はもちろんのこと行橋市行政各位、歴代校長先生からたくさんのお祝いの声が届いたそうです。さすがばあば!! さらに驚いたのが「今ね、授賞式で知り合った糸島と小城の方（ともに会長受賞）とも交流しよん!!」と。うわあ〜!! おそれ

りました!! たくさんのお出逢いをつなぎ、これからはばあばの輪はますます大きく広がりますね。初対面の私たちにも一切の壁を作らず、すぐに打ち解けて接してくださり、事前に考えていたインタビュー内容も不要なほどとても楽しい90分でした。私たちの単位PTAの悩みまで聞いていただきました。ばあば、本当にありがとうございました。（広報委員会 めぐみ・ゆかり）

3月号 もくじ

1面▶▶▶

キラリ★オンリーワンP/令和7年度 九P・日P表彰者

2-3面▶▶▶

令和7年度 ブロック研修会レポート/「学ビバ!! FUKUOKA」2025福岡県大会レポート/「新」家庭教育宣言 のぼり旗原画 入賞者

4-5面▶▶▶

単Pが主役! PTA通信

6面▶▶▶

ナニコレ珍百景/スポーツ交流会レポート/PTA役員研修会のご案内

8面▶▶▶

食べるってなあに/令和7年度【市・町・村】代表者会議レポート

令和7年度 九P・日P表彰者

令和7年度の九州ブロックPTA協議会・日本PTA全国協議会年次表彰式および第47回全国小・中学校PTA広報紙コンクール表彰式が行われ、下記の皆さんが表彰されました。（敬称略）

九州ブロックPTA協議会

◎団体表彰

筑紫野市立山家小学校PTA、筑前町立中牟田小学校PTA、大牟田市立宮原中学校父母教師会、芦屋町立芦屋東小学校PTA、春香町立春思永館PTA、行橋市立行橋小学校PTA

◎個人表彰

荒瀬齊志、石井亮多、吉本光博、岩谷裕子、山下鉄平、久保貴弘、本村慎太郎、大谷仙覚、鍋山義幸

◎感謝状

星野美由紀



日本PTA全国協議会

◎団体

宗像市立中央中学校PTA

◎個人

星野美由紀、藤野 勇、平嶋祐介、杉山美智子、永田健一、大藪耕士

◎第47回全国小・中学校PTA広報紙コンクール

日本PTA全国協議会会長賞

宇美町立桜原小学校PTA

「桜原っ子応援隊」

日P会長賞
おめでとう
ございます♪



(写真左から) 県P鬼頭会長、桜原小学校PTA、日P太田会長

令和7年度

ブロック研修会レポート

11月～2月にかけて令和7年度のブロック研修会が実施されました。講演会や実践発表など多彩な企画が盛りだくさんで、本年度も多くの学びを共有できました。

北九州ブロック

令和7年11月29日(土)
会場：ユメシティのおがた

実践発表：「生徒の活動応援隊・一中PTA
～フットワーク軽く気軽に参加できるPTA活動～」

直方市立直方第一中学校PTA

アトラクション：KANON歌ステージ

NHKのど自慢直方チャンピオン

講演：「わが子を傷つけてしまう前に。」

～未来をひらく親子コミュニケーション～

講師：千壽エマジャクソン 氏

参加人数
191名

北九州ブロック研修会は、「生徒の活動応援隊・一中PTA～フットワーク軽く 気軽に参加できるPTA活動～」のテーマでの実践発表と、千壽エマジャクソンさんによる講演を行っていただきました。また講演前のアトラクションでは、千壽エマジャクソンさんと縁のある「NHKのど自慢直方チャンピオン」のKANONさんによる歌を披露していただきました。

講演の感想では、「エマさんの体験そのものが講演の中心になっていて、娘をもつ親としてとても心をつつものがあった」「『正解より理解』という言葉が大変印象に残った」など多くの声寄せられました。

ご参加いただいた皆さま、研修会を開催するに当たりご尽力いただきました皆さま、心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

(北九州ブロック会長 松莊礼誠)



千壽エマジャクソンさんの講演の様子



直方第一中学校PTAの実践発表

福岡ブロック

令和7年11月15日(土)
会場：糸島市立前原東中学校

講演：「やればできる!! は本当だった

～自ら考え、動く子どもを育てるために～

講師：小林さやか 氏 (ビリギャル本人/AGAL代表取締役)

参加人数
250名

福岡ブロック研修会では小林さやか氏に特別講演を行っていただきました。映画「ビリギャル」のモデルとして知られる小林氏は、認知科学の視点から「モチベーション」「戦略と計画」「環境」の重要性を語り、子どもが主体的に学ぶための具体的なヒントを紹介。参加者からは「子どもだけでなく自分自身のマインドセットを見直すきっかけになった」「家庭でできる工夫を実践したい」との声が寄せられました。保護者・学校・地域が一体となり、未来を切り開く子どもを育てるための学びに満ちた研修会となりました。ご参加いただきました皆さま、ご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。

(福岡ブロック事務局長 川上和幸)



講演する小林さやか氏

南筑後ブロック

参加人数
461名

令和7年11月30日(日)
会場：八女市民会館「おりなす八女」ハーモニーホール

テーマ：「体験を通して学びを得る環境づくり
～子どもたちに多くの学びを～」

オープニングセレモニー：八女ジュニア合唱団

講演：「『平和的コミュニケーション』で創る子どもとともに学べる環境」

講師：木下山多 氏 (合同会社 un-Limited School 代表)

本年度の南筑後ブロック研修会(八女市大会)は、オープニングセレモニーとして八女ジュニア合唱団の素晴らしい合唱から始まりました。講演では、木下山多氏より、NLP(神経言語プログラミング)の考え方を基に、固定化しがちなカウンセリングやコーチングを活性化し、体験をキーワードに、子どもたちの学びをより豊かなものにするための環境づくりについてお話しいただきました。参加者は、実践へと一歩踏み出す意欲を高めることができたと思います。今後のPTA活動にもつながることを期待しています。ご参加いただいた皆さま、研修会開催にご尽力いただいた皆さまに、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

(南筑後ブロック会長 西木戸 聡)



美しい声を響かせる八女ジュニア合唱団



木下山多氏の講演

北筑後ブロック

令和7年11月30日(日)
会場：大刀洗ドリームセンター

テーマ：心豊かで、たくましく生きる子どもを育むPTA活動

実践発表：①「PTA活動の改編と地域との関わりについて

～地域のみならず知り合いになろう～」

小郡市立東野小学校PTA

②「誰もが参加しやすいPTA活動を目指して

～PTA活動の見える化と負担軽減のために～」

小郡市立大原中学校PTA

講演：「寝る子は育つ」は本当だった！

～成績・成長・心の健康を支える眠育のチカラ～

講師：大西 良 氏 (筑紫女学園大学 人間科学部 人間科学科 准教授)

参加人数
401名

北筑後ブロック研修会は、地元で伝わる五庄屋太鼓の演奏、東野小学校と大原中学校の実践発表、筑紫女学園大学の西良准教授の講演と、盛りだくさんの内容でした。参加者からは「太鼓の演奏がすばらしかった」「とても参考になる実践発表と講演であった」という声をいただきました。特に大西准教授の講演は、睡眠の大切さについての内容であり、すぐにでも取り入れることができるので早速やっていきたいという声が多数ありました。

ただ、時間が長すぎたという意見が数件あったため、次年度の内容については検討する必要があると感じています。

結びに、本研修会に参加していただいた会員の皆さまに感謝申し上げますとともに、各校のPTA活動が多様化する時代に合わせて発展することを祈念いたします。

(北筑後ブロック会長 佐藤辰二)



迫力ある五庄屋太鼓の演奏



大原中PTAによる実践発表

学ビバ!! FUKUOKA

2025福岡県大会

福岡県PTA連合会、福岡市PTA協議会、北九州市PTA協議会で構成される三P協が持ち回りで開催する「学ビバ!! FUKUOKA」。令和7年度は福岡県PTA連合会が主管となり、1月17日、ミリカローデン那珂川にて開催されました。

「めっちゃ良かった!」
「もっと聞きたかった!」
「こんなに泣いた講演は初めて」
などの感想が続々!

講演

「子育ての逆の視点 ～自由にしていよ、でいいの?～」

講演テーマは「子育ての逆の視点」。東野氏は、子どもの数が減る一方で不登校は30万人に達していること、小中学生の死因の第1位が自殺で、その理由として学業不振が最も多いことなど、子どもたちを取り巻く厳しい現実を提示。学力優先、順位を重視し、「人の上に立つ」ことを教える日本の教育がその要因になっていると指摘しました。

また、近年主流となった「受け入れる教育」にも疑問を呈し、子どもと接する時に「譲れるもの」と「譲れないもの」を明確にすることが大切だと強調。ゲームが好き、友達が少ない、勉強が嫌い、などは「譲れる」が、挨拶をしない、約束を守らない、不平不満が多いなどは「譲れない」。なぜなら、子どもが社会に出た時に、「必要とされない人」になってしまうから。「何でも自由にしていよ」という関わり方は大人として無責任。子どもたちは、制限があるからこそ疑問や課題が見つかり、個性を発揮して成長できると力強く語りました。

過去に救えなかった子について、涙ながらに話す東野氏。二度と悲しいことが起こらないように。その気持ちが東野氏の原動力になっています。



京築ブロック

参加人数
201名

令和7年12月13日(土)
会場：豊前市市民会館 大ホール

テーマ：「親学 ～人として、大人として、子どもたちに誇れる親の姿～」
実践交流会：①行橋市立仲津中学校PTA
テーマ「全員が進んで参加できるPTA活動を目指して」
講演：「イマドキ?親子のほっと×HOTコミュニケーション」
講師：碓井真史氏(新潟青陵大学大学院教授)

本年度の研修会も「親学」を研究主題として進めてまいりました。実践発表の感想では、「PTA活動は子どもたちの心の成長や郷土愛を育む大切な活動になる」と学んだ方や「すぐに芽は出ない、でもやらないと芽は出ない」という言葉が心に残った方もいました。今後のPTA活動の中で保護者にとっても教職員にとっても負担の少ない持続可能なPTA活動が必要だと感じました。講演の感想では、「子どもにほっとできる居場所を作ってあげたいと改めて思った」など、参加者の94%が大変良かったとの意見でした。先生から子育てに幸福感をもちながら関わっていくことの大切さをお話いただきました。研修会を開催するに当たりご尽力いただきました関係者、ご参加の皆さまに心よりお礼申し上げます。

(京築ブロック会長 長谷山健二)



碓井教授の講演



仲津中PTAによる実践発表

筑豊ブロック

令和8年2月8日(日)
会場：田川青少年文化ホール

参加人数
135名

講演：「不登校は不幸じゃない!」
10年間不登校でも僕が幸せに生きられる理由」
講師：小幡和輝氏

本年度の筑豊ブロック研修会は、教育界における今日的課題である「不登校」をテーマに開催しました。本研修会では、ご自身が10年間不登校であった小幡和輝氏を講師に迎え、講演をしていただきました。不登校児童・生徒の現状や、ご自身の経験から感じられたことを話してくださいました。質疑応答では、学校関係者だけでなく、サポートセンターやフリースクールで勤務されている方からも不登校支援に関する質問が出され、時間が足りないほどでした。参加者からは「小幡さんのお話を聞きながら、『学校行かなくていいけど、サボっていいわけではない』『ゲームから学べることを考え評価する』。その言葉にそうだよ! たしかに! と思いました」などの声が寄せられました。

(筑豊ブロック会長 宇留島幸紀)



開会行事の様子



講演する小幡氏

“新”家庭教育宣言

のぼり旗原画募集 入賞作品が決定しました!

最優秀賞、優秀賞に輝いた作品は以下のとおりです。最優秀賞の作品は、実際にのぼり旗の原画として使用させていただきます。ご応募くださった皆さま、ありがとうございました。

おめでとう
ございます!



最優秀賞
三並小6年
内藤仁菜さん



優秀賞
伊良原中3年
門野帆乃香さん



優秀賞
筑後中1年
野村紗由さん

主役!// 通信



北九州 新生北小PTA元年!

なかまきた
中間市立中間北小学校



「できる人が、できる時に、できることを!」が本校PTAの活動目標です。

負担を減らし、継続した活動を続けていくため、そして一人でも多くの保護者に活動に参加し楽しさを知ってもらうため、本年度よりボランティア制を取り入れることにしました。下校時の見守り活動や学級文庫の修繕作業、「北小夢まつり」のお手伝いなど時間と内容を明記した手紙を配布し参加を募りました。活動ごとの募集にしたので、たくさんの参加の返事をいただくことができました。

夢まつりでは、子どもたちに積極的に関わる姿をたくさん見ることができました。「子どもたちの笑顔がたくさん見られてうれしかったです」「楽しい時間を過ごすことができました!」「イベントに参加できてよ

かったです!」など保護者からのうれしい声をたくさん聞くことができました。

今後も誰もが気軽に参加できるPTA活動を目標に取り組んでいきます。

(中間北小PTA会長 大迫あゆみ)



夢まつりに“あの”キャラクターがやってきました!

京葉 ふるさと仲津を合い言葉に!

なかつ
行橋市立仲津小学校



仲津小学校は、すぐ近くにある仲津中学校との一小一中の特徴を生かし、保護者や地域の方の協力をいただきながら教育活動をすすめています。特に、本校5年生と仲津中2年生の合同での田植えや稲刈り、本校3年生の果樹園見学やいちじくジャム作りなどの体験活動においては多くの大人が支援を行っています。

「仲津小学校児童の合い言葉」

- ス・・・すすんであいさつする子ども
- マ・・・まごころでかかわる子ども
- イ・・・いっしょうけんめい学ぶ子ども
- ル・・・ルールを大事にする子ども

この「スマイルなかつ」を柱に、今年度は「共育!協育!郷育!」をスローガンにかかげ、学習活動でのPTAボランティア活動を推進しています。

(仲津小PTA会長 山口裕平)



いちじくジャム作り



小中合同稲刈り



2025.12.7 大逃走~UENO MISSION~2
PTA事業:大逃走

筑豊

小規模校の強みを生かして

あがの
福智町立上野小学校



福智町立上野小学校は、福智山のふもとにある全校児童59名の小さな学校です。本校PTAは小規模校ならではの、つながりを大切に活動を行っています。

本年度は11月1日を「PTA活動の日」とし、親子で参加できるレクリエーションを実施しました。シャッフルボードや室内ゲームなど学年を超えた交流を行い、笑いとおどろきが体育館中に響き渡りました。児童59名に対し、保護者を含め約120名が参加する

盛大な行事となりました。

また本校は来年度、創立150周年を迎えます。記念事業に向け、PTAも実行委員として積極的に関わっています。令和8年11

月開催予定の記念式典を、学校と地域、保護者が一体となって盛り上げていけるよう、みんなで頑張っています。

(上野小PTA会長 福永孝允)



楽しくジャンケン



グループに分かれてシャッフルボードを行いました

\\ 単Pが

PTA

福岡

全会員参加!ふれあい活動

新宮町立新宮東中学校



新宮東中学校のPTAは、全会員が年に1回、必ずPTA活動の1つに参加する「ふれあい活動」というシステムを構築しています。会員は、年度初めに、以下の3つの活動の中から参加できる活動を1つ選びます。

- ①入学式もしくは卒業式前の花植え
 - ②体育会の感想書き
 - ③毎月1回の交通安全指導、挨拶運動
- 花植え活動は、生徒とともに、和気あいあいとした雰囲気の中で作業を行います。体育会の感想は、生徒の頑張りや学校よさがたくさん書かれており、生徒の自己有用感の向上につながっています。毎月の登校時の交通安全指導・挨拶運動は、生徒と挨拶を交わすことで安心、安全な学校づくりに寄与できています。このように、本校の「ふれあい活動」は、全会員でPTA活動を行うという意識を高め



【フレンジャー】
勉強フレンド(Friend)マン
部活ファイト(Fight)マン
挨拶ファイン(Fine)マン

るとともに、できるときにできることを無理なく行う充実した活動となっています。
(新宮東中PTA会長 高尾竜二)

【ふれあい活動】



花植え



体育会感想



交通安全指導・挨拶運動

北筑後

子どもと創る地域の未来

久留米市立高牟礼中学校



本年度、本校PTAは地域とさらなる絆を深めるため、新たな一歩を踏み出しました。その一環として保護者で構成する「高牟礼ファミリーの会」を復活させ、夏祭りなど地域行事準備への参加呼びかけをしました。子どもたちも夏祭りや校区フェス、左義

長など行事準備や当日のスタッフなどボランティアとして参加しています。

子どもたちは地域の方々と直接触れ合う中で、社会性や協働性が養われ、郷土愛も育むことができます。PTAとして、今後もこのような活動を通じて地域とつながり、学校・家庭・地域の連携を強め、「顔の見える関係」を大切にしながら、子どもたちを見守り支えていきたいと考えています。

(高牟礼中PTA副会長 佐藤佐和香)



校区まつりでスタッフとして働いている様子



左義長に向けて竹の準備を手伝っている様子

南筑後

学校・地域と共に支え合うPTA

みやま市立山川中学校



山川中学校は、福岡県南部に位置するみやま市にあります。

豊かな自然に囲まれ、西日本一の生産量を誇るセロリや、全国トップの銘柄・山川みかん、おいしい高菜漬けの材料・三池高菜の産地として知られています。

そんな豊かな自然と生活の中で伸び伸びと過ごす子どもたちのために、私たちPTAも保護者同士協力し合って活動に励んでいます。

式典等で使用するパイプ椅子の背もたれや座位部分の補修、学校行事や地域行事での見守りパトロールや除草作業ボランティア、PTA 広報誌の作成、祖父母参加も呼びかけた親子研修会の開催など日々アイデアを凝らして取り組んでいます。今後も山川のよさを学校・地域とともに子どもたちに継承していけるPTAでありたいと願っています。

(山川中PTA会長 川嶋洋平)



PTA研修会で保護者・生徒一緒に、自分自身を慈しむ心を育む大切さを学ぶ事ができました

令和7年度
スポーツ交流会

激戦制し 「久保小・勝山中」優勝!

筑豊「穂ひがOTR」も大健闘

最後まで諦めない!



1月31日、今年度も嘉麻市の嘉穂総合体育館でソフトバレーボール大会が開催されました。福岡、北筑後、南筑後、北九州、筑豊、京築の6ブロックから計18チーム・174名が参加し、会場は朝から熱気と声援に包まれました。

予選を勝ち抜いた8チームが決勝トーナメントに進出。毎年、強さを見せつける京築ブロック勢が安定した試合運びで上位に名を連ねます。

そんな中、大会を大きく揺らしたのは筑豊の「穂ひがOTR」。準決勝で、5連覇を狙う昨年の覇者「りまっぴー黒田」(京築)を撃破! 会場はどよめきに包まれました。頂上決戦は勢いづいた「穂ひがOTR」と、昨年、準優勝の強豪「久保小・勝山中」(京築)。一進一退、互いに譲らぬ展開の中、「久保小・勝山中」が要所で粘り強さを発揮し、見事、優勝旗を手に入れました。

閉会式では参加したすべてのチームが大きな拍手で健闘をたたえ合い、白熱のスポーツ交流会は盛況のうちに幕を閉じました。

ナイスプレー!



つないでいこう!



優勝 久保小・勝山中 (京築)

2位 穂ひがOTR (筑豊)

3位 りまっぴー黒田 (京築)

水辺の仲間のママパパティーチャーズ (南筑後)

MVP 茶ッス! (南筑後) ※MVPは印象に残るプレーや応援を行ったチームに贈られます。

おめでとう
ございます!

優勝コメント 久保小・勝山中チーム



「楽しんでプレーすること」を大切に、大会に臨みました。準決勝で敗れた「りまっぴー黒田」チームをはじめ、同じ京築ブロックの仲間が決勝戦で応援してくれて勝つことができました。また、忙しい中でも参加して下さった先生方がいてこそこの優勝です。来年もまたみんなで力を合わせて頑張りたいです!

十二コロ珍百景

学校や地域の面白ネタを紹介!

①その名も「ベルマークおばさん」!?

おおみぞ
大木町立大溝小学校

ベルマーク収集活動に力を入れている我がPTA。町の施設や公民館に「ぜひ箱を置かせてください!」とお願いして回った日々。そんなある日、自宅のポストに小さなポチ袋がポトリ。表には大きく「ベルマーク」。中にはぎっしり詰まったベルマーク! てっきり姉が届けてくれたと思いきや、「私じゃないよ」とのこと。では一体誰が?

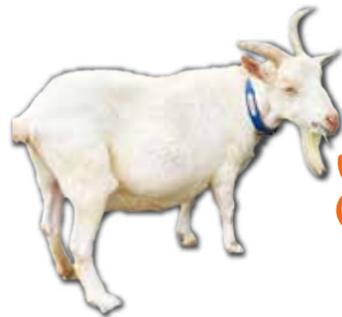
数カ月後、またポチ袋が! そしてその後も立て続けに届く“謎のベルマーク便”。どうやら私は地域で、「ベルマークの人」と認識されてしまったようです。最近ではポストを開けるたび、「今日も誰かのポチ袋が届いているかも」と期待してしまう、ちょっとした宝探し気分です♪
(大溝小 郡P母代 飯塚篤紀)



②ヤギが先生!?

てがま
大牟田市立手鎌小学校

手鎌小学校では、なんと14年前からヤギを飼育しています。校庭で草を食む姿は子どもたちの心を和ませ、命について学ぶ「先生」としても大活躍。さらに6年前には、学校オリジナルのヤギ絵本まで発行されました。長年ヤギを飼育する学校は全国的にも珍しく、手鎌小ならではの温かい取り組みとして話題を呼んでいます。
(手鎌小PTA会長 中川原佳代)



絵本にも
なったよ!



大募集

このコーナーに登場して下さる人・モノ・コトを募集しています。学校や地域の面白ネタをお寄せください!

ご応募はコチラから➔



単P会員の皆さんへ
令和8年度

PTA役員研修会

単位PTAの活動に役員、教職員として携わる皆さまを対象に、PTA活動の経験や課題などを共有し、意見交換する研修会です。令和8年度は5つの分科会で、テーマについてより深めていきます。ぜひご参加ください。

日時 令和8年4月26日(日)
13:00~16:00 (12:30開場)

場所 イヅカコスモスコモン及び
イヅカコミュニティセンター
(飯塚市飯塚14-66)

参加対象 令和8年度単位PTA役員予定者、
令和7年度役員、教職員、担当委員、
その他単位PTAが必要とされる方

【日程および内容】

13:00~13:15 開会行事[コスモスコモン大ホール]
13:15~14:15 全体会
講演「先生方の思いとわたしたちができること(仮)」
講師 長野県PTA連合会 会長 城村義人 氏
14:30~15:55 分科会 [コミュニティセンター 各会場]
15:55~16:00 閉会行事

分科会	テーマ	内容
第1	防災について	・近隣自治体の防災担当職員及び教育委員会担当職員を招いて ・グループディスカッション
第2	プロを困らせて聞いてみよう ~プロの視点で学ぶ、 伝わる広報のつくり方~	・西日本新聞社 益田孝氏による講演 ・グループディスカッション
第3	魅力的なPTAを目指して	・福岡県PTA連合会 元会長 西村澄子氏による講演 ・グループディスカッション
第4	SNSトラブル対応	・株式会社 伝えるを考える 置鮎正則氏による講演
第5	PTAの可能性	・三潁郡大木町立大溝小学校 PTA会長 古賀國弘氏による講演

※内容は変更になる場合があります。ご了承ください。

第34回

広報紙 コンクール

締切迫る!

必着

3月31日(火)

皆さんのPTA自慢の広報紙、ご応募お待ちしております♪
今年はWeb版も募集中!



応募の詳細は県Pホームページをご覧ください。申し込みフォームのダウンロードもできます。



保護者の皆様へ

小・中学生総合保障制度ご案内 [こども総合保険]

たくさんの安心で大切なお子さまの成長をサポートします

補償内容を動画でcheck



お友達にケガをさせる



自転車事故



学校での嫌がらせ



SNSでの悪口

団体割引の適用により
約**33%**割引*



学校貸与端末を誤って壊した

賠償補償

こころのケアの補償



授業中にメガネを壊した

モノの補償

みんなの相談ダイヤル

各種電話相談



- ・メンタルケア
- ・カウンセリング
- ・弁護士相談
- ・健康相談
- など



通学中のケガ

身体の補償

養育費の補償

日常生活のケガ



病気



扶養者が事故で重度の後遺障害



プランにより補償内容が異なる場合がありますので、詳しくはプラン表をご確認ください。



学校がお休みの日も補償します。

24時間 補償対象!

ただし、一部の補償は24時間補償ではありません。



福岡県自転車条例に対応!

すべてのプランに 個人賠償責任補償付

(示談交渉サービス付*) *国内のみのサービスとなります。

詳しい補償内容は、学校より配布されます「小・中学生総合保障制度」パンフレットをご確認ください。また、ホームページでも詳しい補償内容をご説明しておりますので、ご確認ください。

AIG損害保険株式会社
『お子さまのための総合保障制度』

<https://riskfinder.jp/school/>



■制度に関するお問合せ先(取扱代理店)

株式会社コーリン(福岡県PTA連合会 保障制度事務局)

〒810-0022 福岡市中央区薬院4丁目3-5 セレス薬院5F

<https://www.pta-corin.com/>

通話料無料

0120-228-553

受付時間/平日 午前9:00~午後5:00

■引受保険会社

(幹事会社) AIG損害保険株式会社 福岡支店

(非幹事会社) 東京海上日動火災保険株式会社 損害保険ジャパン株式会社 三井住友海上火災保険株式会社 Chubb損害保険株式会社

この広告は「小・中学生総合保障制度(こども総合保険)」の概要についてお伝えしています。ご加入の際は必ずパンフレットおよび重要事項説明書をご覧ください。
※割引率について:このパンフレットで案内している保険商品の算出基準である保険料(加入者数20名未満の団体における保険料)に対しての割合を示します。
適用される割引率は前年度の加入者数等に応じて決定します。



山際千津枝の

— マングースの独り言 —

Vol.131

食べるってなあに

やまぎわ・ちづえ

食をコミュニケーションツールと考えている料理研究家。その他エッセイスト・テレビ、ラジオのコメンテーター。現在は博多阪急デパートにおいて地下食品販売部アドバイザーを務める。

緑のキャベツ 赤いキャベツ



一番好きなお野菜はキャベツ。フライにたっぷり添えた、せんキャベツ、オリーブ油を絡ませたコールスローサラダ、シャキシャキの炒め物、色とりどりの野菜と柔らかく煮たキャベツ全部が好物。生でも加熱してもオールマイティに美味しいというのがキャベツの良いところですね。

地中海周辺が原産のキャベツは冷涼な気候を好みますが、品種や産地を移動させて栽培する産地リレーで一年中店先に並ぶのもうれしいお野菜です。特に今の季節に並ぶ春キャベツは柔らかく甘みがあるので即席漬けやサラダなど生でいただくのがおすすめです。

キャベツはアブラナ科の植物で、大根やブロッコリー、高菜や白菜、ワサビ等と同じ仲間です。収穫せずにそのまま畑に放っておくと花弁が4枚の「十字花」、白や黄色のかわいい菜の花が咲きます。花を見ると仲間が分かります。畑の近くを通るときに子どもさんたちと一緒に観察するのも楽しい時間になりそう。

キャベツは栄養豊かなお野菜で、ビタミンCやK、葉酸、さまざまなミネラルやビタミン、食物繊維を含み、その中でもビタミンU(キャベジン)は胃の粘膜を保護し胃腸を守ります。生活習慣病予防と美容にも役立つ優れたもののお野菜なのです。

さらに最近目にすることが多くなった紫色のキャベツ(赤キャベツ)は抗酸化作用のあるアントシアニンを含むのでぜひ使ってみてください。普通のキャベツよりお値段が張るのですが、夫が釣り好きで陽を浴びる時間が長いので細胞の老化予防のために奮発しています。赤キャベツは1/2個でもしっかり結球しているので、刻むとかなりの量になりますよ。

<赤キャベツのおすすめレシピ>

- ①赤キャベツの芯を取り除いてせん切りにし、保存容器に入れます。
- ②赤キャベツ300gに対して塩小さじ1/2を振り入れ、砂糖小さじ1、リンゴ酢(他の酢でも)とオリーブ油を各大さじ2ずつ入れてよく混ぜます。
- ③少し置けば食べられて、4~5日は保存できます。

酢の作用で赤く発色して、とても美しい色になります。そのままでも美味しいのですが、皮を剥いたリンゴを小さく切って混ぜ込むとまた別の美味しさです。とにかく作っておくと肉料理の付け合わせやサラダの彩りに使えてとても便利。

青みがかった紫色のアントシアニンが酢の酸で鮮やかに赤く発色するのは、料理をする人間にとってご褒美のような楽しい瞬間なのです。

令和7年度 【市・町・村】 代表者会議

テーマ 「持続可能なPTA活動とは」

福岡県PTA連合会(県P)の役員が県内の各地域に出向き、現地PTAの皆さんと語り合う【市・町・村】代表者会議。令和7年度は10月から12月にかけて開催されました。各ブロックに参加した県P副会長が会議の様子をレポートします。

10月1日(水) 南筑後

任期のある役員体制をとっている学校がある一方で、PTA・学校・校区協議会が連携して活動(PTA→PTCAへ)している学校もあることが分かりました。また、役員に限定しないボランティア制の学校も増えてきており、より多くの保護者が参加しやすい環境づくりをされているなどと思います。しかし、役員のなり手が少なく苦勞している学校があるのも事実で、「負担・大変」というイメージから「やってみたい」活動へシフトしていくことや、保護者の負担軽減、やってみたいと思える楽しい活動、続いていく役員の仕組みづくりが大切だと感じています。

(下原仁美)



10月8日(水) 京築

PTA組織のあり方を考え、「学年委員や委員会の廃止→ボランティア制」を導入している学校が昨年以上に多くなっており、強制的な活動は時代の流れに合わなくなっていることを実感させられた。多くの学校が役員選考に苦戦する中、全保護者宛の役員選考のアンケートで、「次年度の会長と母代は候補が決まっている旨をお知らせすると、「役員をやってもいい」との回答が多かったという学校も。PTAに対する風当たりが強い現在、役員も、そうでない保護者も「子どものために」という気持ちは同じ。役員にならなくても、PTAとして同じ方向を向いて活動していると認識してもらうことが大事なんだと感じた。

(藤原健太郎)



10月15日(水) 筑豊

会長の話は役員未経験者でも理解できる分かりやすい内容だった。参加者は真剣に聞きつつも、笑いもあり、いい雰囲気だった。特に県PTAが単Pを支える「逆三角形ピラミッド」と「PTA=(P)パッと、(T)楽しく、(A)集まろう」の説明から、参加者の緊張が解けた感じがして、会場の雰囲気が変わった。学校によっては負担を軽減するため会長が複数名のところも。また、役員へのメリットを「プラチナチケット」と称して会員へアピールしている学校もあり、遊び心とワクワク感が楽しい活動につながると感じた。

(郷原真一)



11月17日(月) 北筑後

鬼頭会長からの熊本PTA裁判*の判例や、近年話題の入会同意についてのお話には、多くの参加者が熱心に耳を傾けており、関心の高さがうかがえました。グループディスカッションでは、役員選考の悩みや、うまく機能している取り組みが共有され、生徒数や保護者の参加のされ方など他校ならではの「気づき」もあったようです。参加者からは、「児童減少やPTA未加入など悩みは尽きませんが、さまざまな方の意見を聞いて新鮮でした。もっと気軽に参加しやすいPTAにしていきたい」という感想をいただきました。(三木聖隆) *2014年、原告保護者が、同意なくPTA加入させられたとして会費返還などを求めて熊本で提訴。裁判を通じて「PTAは任意団体」であることの理解が広がった。



11月22日(土) 福岡

ポイントはいかにしてPTA活動を知ってもらうか…。そのためには誰が見ても分かりやすく親しみやすい「PTAのトリセツ」を作成したり、活動風景を随時メール等で周知したり…任期を決め関わる人を増加させる方法も意見が出た。最後の服部監事からのあいさつ「コロナ禍で何もできなかった時期に見直しも行いスリム化した。今はそれを経て、ここからは強制でやらされることではなく、やりたいことをやる時期に来た」のとおり、大人と子どもとで、やりたい活動を進める学校が増え、関わる皆が笑顔になれるとうれしいと思う。

(郷原真一)



12月1日(月) 北九州

多くの学校で「委員のなり手不足」や「役職の固定化」が課題として挙げられていました。特に小規模校や中学校では委員の確保が難しく、活動量の調整やローテーション制、ボランティア化などの工夫が報告されました。一方、PTA役員と学校の連携がスムーズな学校ほど負担が軽く、活動が活性化する傾向があります。また、子どもが活動に関わることで保護者も自然と参加しやすくなる仕組みづくりや、学校アプリを活用した役員募集の工夫も紹介されました。今回のディスカッションを通じて、単なる簡素化ではなく、「子ども主体・地域協働・学校連携」という新しいPTA像が求められていると感じました。(矢野愛)



◎6地域ブロックの開催を終えて…

県内6地域で市町村代表者会議を開催し、単位PTAの皆さまから日頃の取り組みや課題を共有いただきました。鬼頭会長からは「県PTAは単位PTAを支えるピラミッド

の立場である」との話があり、私たちも現場に寄り添う姿勢を大切にしています。第2回【市・町・村】代表者会議はオンライン開催を予定しています。県PTAにとっても単位PTAにとっても、地域を越えて事例を学び合える、「活動の幅が広がる場」として準備を進めてまいります。(三木聖隆)